

直近の米の需給動向（資料編）

平成16年10月

目 次

1 米の消費に関する直近の動向

図 1 米の消費量の推移（1人1年当たり）

図 2 月別米の1人1ヵ月当たり消費量の増減率（対前年同月比）

2 米の生産に関する直近の動向

表 1 平成16年産水稻の作付面積及び9月10日現在の10a当たり（予想）収量・作況指数

図 3 平成16年産水稻の9月10日現在の都道府県別作況指数

表 2 平成16年産水稻うるち米の品種別作付状況（上位20品種）（速報）

表 3 平成16年産水稻うるち玄米の等級別比率（9月30日現在）

3 米の需給に関する直近の動向

図 4 民間流通米のうち旧自主流通米の集荷実績の推移

図 5 平成16年産民間流通米の集荷状況

表 4 旧自主流通米の月別販売状況

表 5 旧計画外流通米の月別出回り数量の推移

図 6 民間流通米の月別出回り等の状況

図 7 平成15年産旧自主流通米の主要産地品種銘柄の販売進捗

表 6 旧自主流通もち米等の月別販売数量

表 7 平成16年産米の出回り等の数量

表 8 平成15年産米の主な産地別政府買入について

図 8 政府米の月別販売動向

図 9 政府米の主要産地別販売比率

図 10 政府及び民間流通の6月末在庫

図 11 旧登録卸売業者の月末在庫量の推移

図 12 政府備蓄米の在庫状況（平成16年9月30日現在）

表 9 政府備蓄米の主要産地銘柄別在庫内訳

図 13 民間流通米の入札価格、申込数量倍率の推移

図 14 主要な産地品種銘柄別にみた入札価格の推移

表 10 直近の産地品種銘柄別センター取引結果

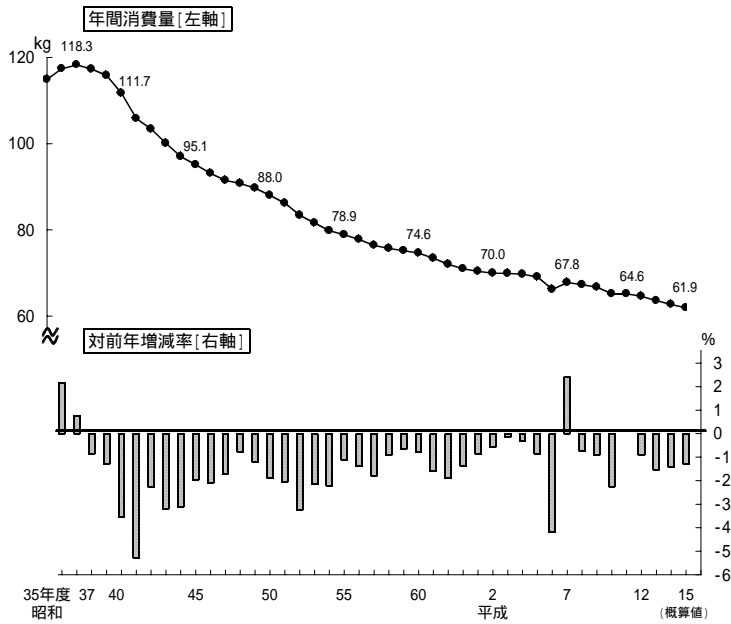
図 15 米の卸売価格の推移（平成14年産・15年産・16年産）

図 16 米の小売価格の推移（平成14年産・15年産・16年産）

表 11 平成16年産米の卸売・小売価格

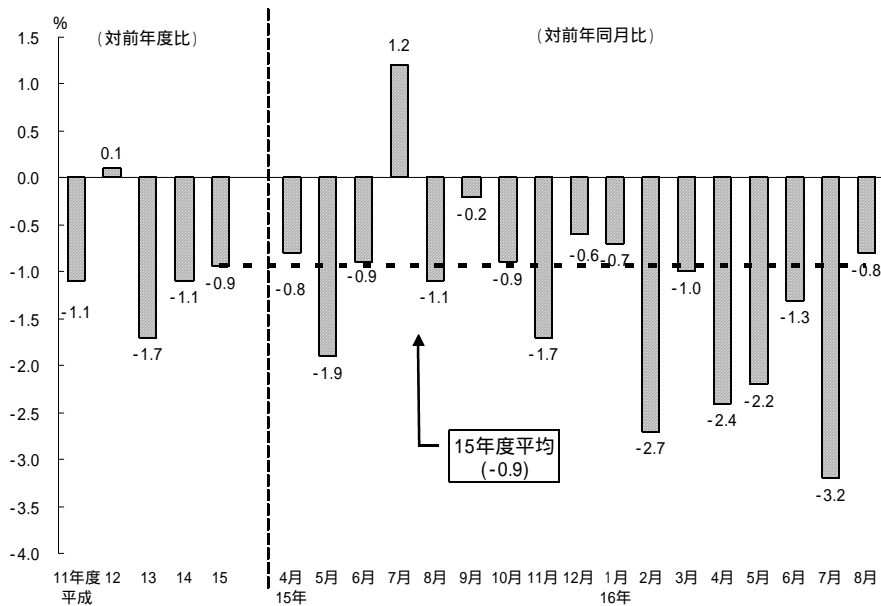
1 米の消費に関する直近の動向

図1 米の消費量の推移（1人1年当たり）



資料：農林水産省「食料需給表」
注：1人当たり供給純食料の値である。

図2 月別の1人1ヶ月当たり消費量の増減率（対前年比）



資料：農林水産省「米の消費動向調査」
注：1) 毎月、全国 8,340 世帯を対象とした調査である。
2) 1人1ヶ月当たりの消費量の年度平均値についての対前年比である。

2 米の生産に関する直近の動向

表1 平成16年産水稻の作付面積及び9月10日現在の10a当たり（予想）収量・作況指数

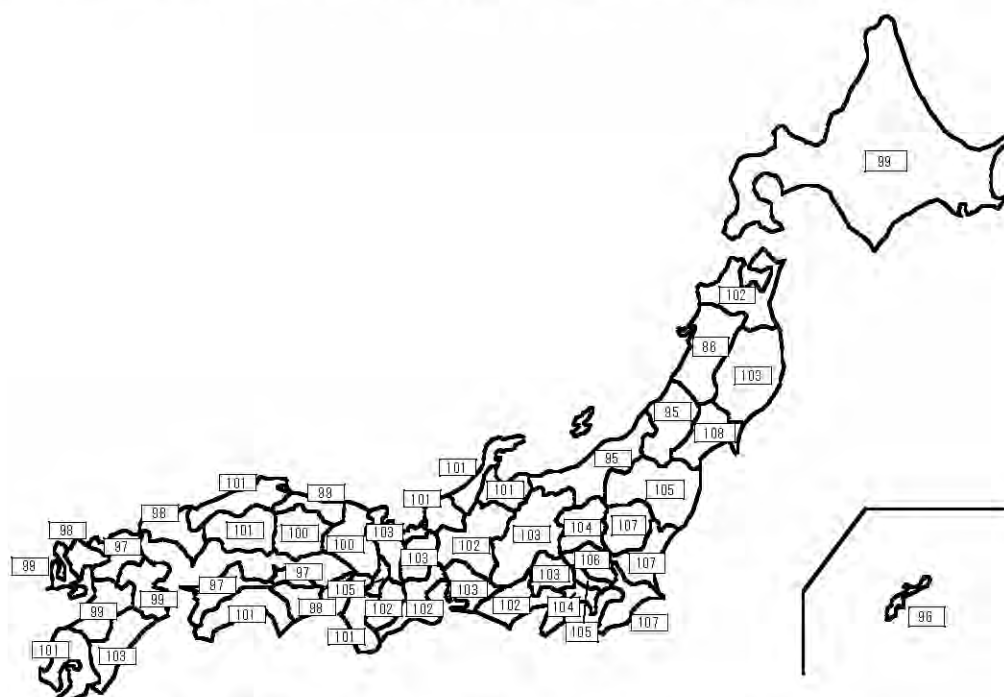
単位 { 作付面積：ha
対前年比：%

全国農業地域	作付面積 (青刈り面積を含む)	前年産との比較		10a当たり (予想)収量	10a当たり 平年収量	作況 指数
		対差	対比			
全 国	1,704,000	34,000	102	kg 528	kg 525	101
北海道	120,500	2,600	102	523	528	99
東北	441,000	10,700	102	548	555	99
北陸	216,600	4,700	102	520	532	98
関東・東山	312,700	7,300	102	558	526	106
東海	108,900	600	101	510	499	102
近畿	116,200	1,300	101	512	502	102
中国	122,600	1,900	102	515	515	100
四国	59,400	300	101	472	483	98
九州	205,200	4,800	102	496	500	99
沖縄	1,100	50	105	362	376	96

資料：農林水産省「平成16年産水稻の作付面積及び9月10日現在における作柄概況」

注：沖縄県の10a当たり（予想）収量、10a当たり平年収量及び作況指数は第一期稲である。

図3 平成16年産水稻の9月10日現在の都道府県別作況指数



資料：農林水産省「平成16年産水稻の作付面積及び9月10日現在における作柄概況」

注：1) 西南暖地の早期栽培の地域（徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県）は早期栽培、普通栽培をたし合わせたものである。

2) 沖縄県は第一期稲の作況指数である。

表2 平成16年産水稻うるち米の品種別作付状況（上位20品種）（速報）

（単位：千ha、％）

順位		品種名	16年産		15年産		対前年差	対前年比
16年産	15年産		作付面積	作付割合	作付面積	作付割合		
1	1	コシヒカリ	553,362	37.8	540,268	36.9	13,094	102.4
2	2	ひとめぼれ	152,253	10.4	145,738	10.0	6,515	104.5
3	3	ヒノヒカリ	147,207	10.0	143,547	9.8	3,660	102.5
4	4	あきたこまち	128,746	8.8	124,434	8.5	4,312	103.5
5	6	キヌヒカリ	51,028	3.5	52,563	3.6	1,535	97.1
6	5	きらら397	48,682	3.3	63,562	4.3	14,880	76.6
7	7	はえぬき	43,616	3.0	43,072	2.9	544	101.3
8	8	ほしのゆめ	38,633	2.6	28,291	1.9	10,342	136.6
9	9	つがるロマン	23,965	1.6	19,741	1.3	4,224	121.4
10	18	ななつぼし	16,984	1.2	9,900	0.7	7,084	171.6
上位10品種計			1,204,476	82.2	(1,177,576)	(80.5)	33,360	102.8
11	11	ゆめあかり	14,596	1.0	12,287	0.8	2,309	118.8
12	10	ササニシキ	12,281	0.8	16,360	1.1	4,079	75.1
13	15	あいちのかおり	12,259	0.8	11,637	0.8	622	105.3
14	14	夢つくし	11,826	0.8	11,882	0.8	56	99.5
15	17	あさひの夢	11,602	0.8	10,164	0.7	1,438	114.1
16	12	日本晴	10,598	0.7	12,191	0.8	1,593	86.9
17	19	ハツシモ	9,658	0.7	9,792	0.7	134	98.6
18	13	ハナエチゼン	8,911	0.6	11,993	0.8	3,082	74.3
19	28	こしいがき	7,641	0.5	5,112	0.3	2,529	149.5
20	21	祭り晴	6,387	0.4	7,255	0.5	868	88.0
上位20品種計			1,310,235	89.4	(1,285,864)	(87.9)	30,446	102.4
合計			1,465,602	100.0	1,463,128	100.0	2,474	100.2

資料：農林水産省「米穀の品種別作付状況」

注：1) 作付面積は、稲の延べ作付面積が10アール以上の生産者から8月25日までに申告のあった面積（沖縄を除く。）の集計であり、「水稻作付面積調査」とは異なる。

2) 作付割合は、本調査における全国的水稻うるち米（醸造用を含む。）の作付面積に対する作付割合である。

3) 15年産計欄上段のカッコ書きは、15年産の作付上位10品種及び20品種の計の値である。

4) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

表3 平成16年産水稻うるち玄米の等級別比率（16年9月30日現在）

（単位：千トン、％）

等級 年産	検査数量	等級別比率（％）			
		1等	2等	3等	規格外
平成16年産	1,779.3	72.9	23.7	2.6	0.8
15年産	895.6	79.3	19.1	1.2	0.3
対前年増減率 (ポイント)	98.7	-6.4	4.5	1.4	0.4

資料：農林水産省調べ

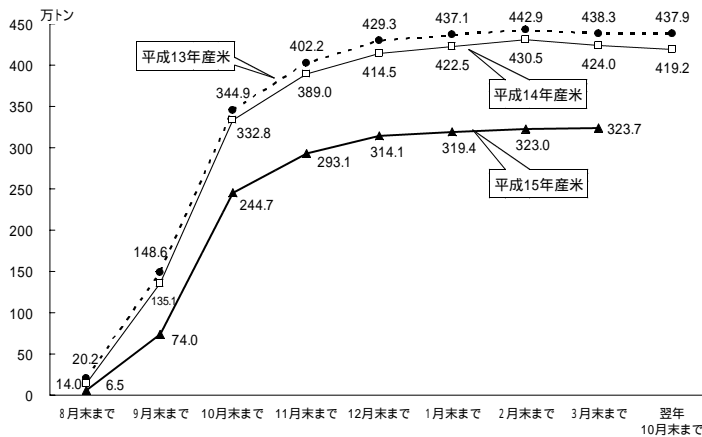
注：1) 速報値である。

2) 15年産の検査数量及び等級別比率については同時期の数字である。

3) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 米の需給に関する直近の動向

図4 民間流通米のうち旧自主流通米の集荷実績の推移

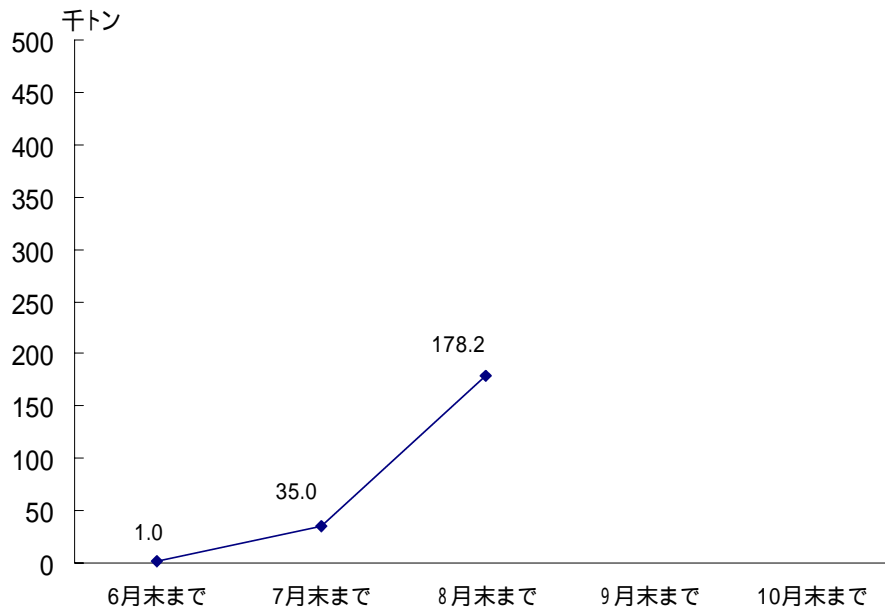


資料：農林水産省調べ

注：1) 旧自主流通うるち米、もち米の合計値である（加工用米含む）。

2) 平成13年産、14年産の3月末までの累計値が、2月末までの累計値を下回っているのは、一部の米が集荷後に旧自主流通米から政府米等へ制度変更されたためである。

図5 平成16年産民間流通米の集荷状況



資料：農林水産省調べ

注：1) 「米麦の出荷又は販売の事業を行う者等の流通状況調査」による。

2) 速報値である。

表4 旧自主流通米の月別販売状況

(単位：万トン)

年産	当年7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年	2月	3月	4月	5月	6月	6月末累計	7月	8月
14年産	1	5	14	25	23	26	24	27	42	35	35	40	297	23	17
平成15年産	1	4	9	22	42	19	13	13	19	19	20	29	208	17	14
対前年差	0	1	5	3	18	8	11	15	24	16	15	11	89	6	3

資料：農林水産省調べ

- 注：1) 旧自主流通主食用うるち米の販売実績である。
 2) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表5 旧計画外流通米の月別出回り数量の推移

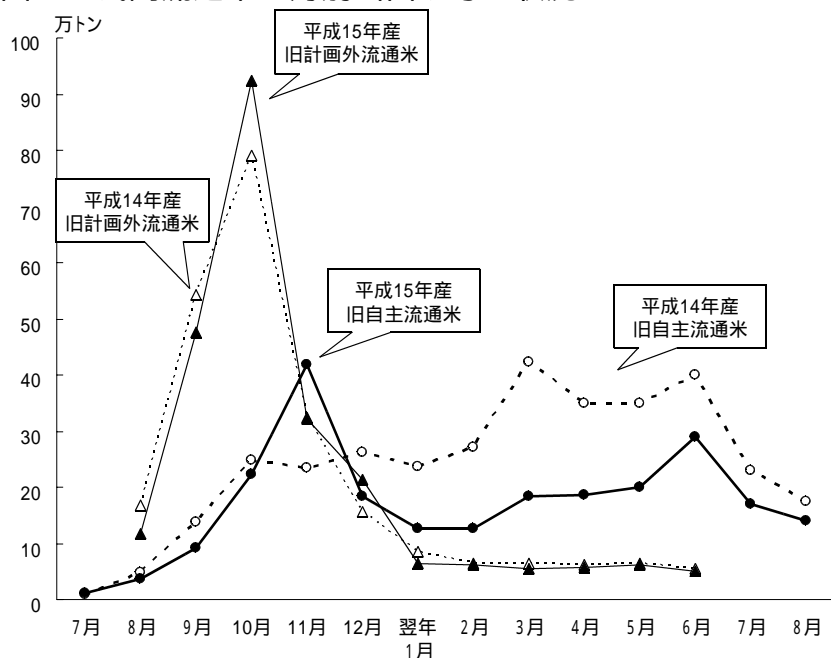
(単位：万トン)

年産	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	6月末累計
14年産	17	54	79	32	16	8	7	6	6	7	6	238
平成15年産	12	48	92	32	21	6	6	6	6	6	5	241
対前年差	5	7	13	0	6	2	0	1	0	0	0	3

資料：農林水産省調べ

- 注：1) うるち米の出回り数量である。
 2) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

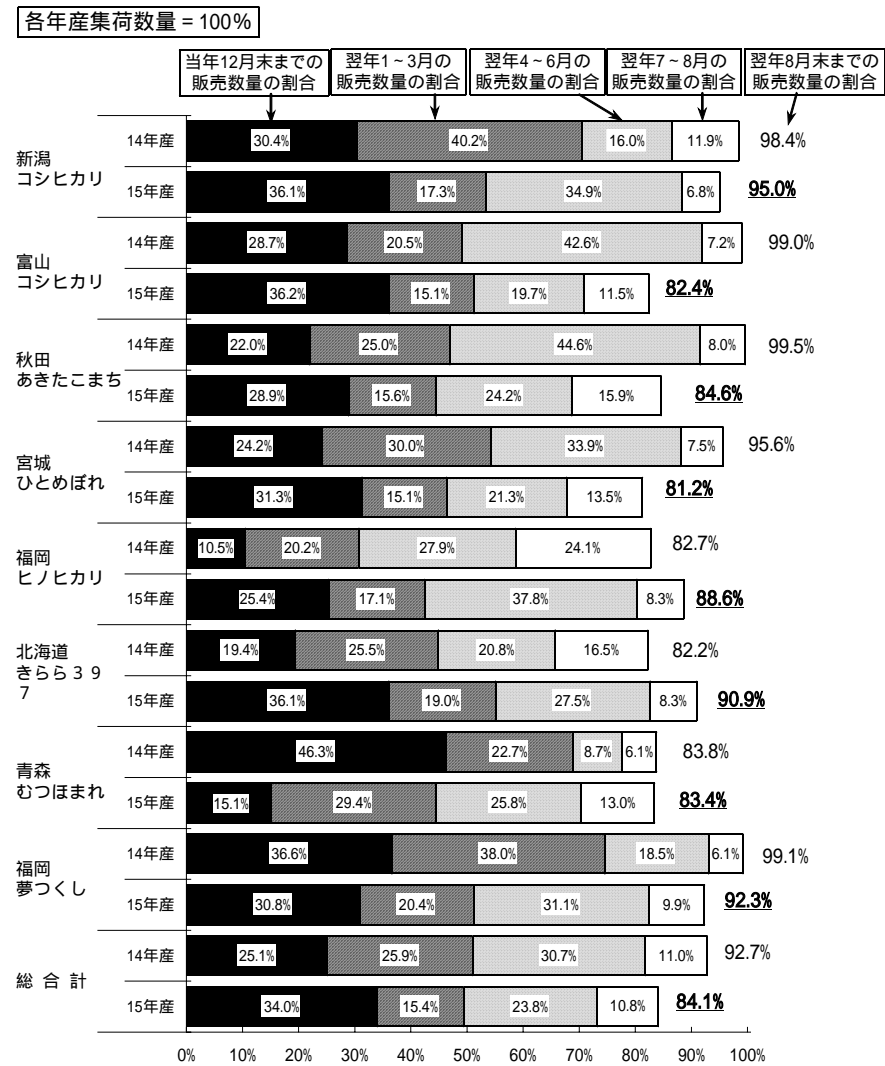
図6 民間流通米の月別出回り等の状況



資料：旧自主流通米は全国出荷団体調べ、旧計画外流通米は農林水産省「生産者の米穀現在高等調査」

- 注：1) 旧自主流通米は、旧自主流通主食用うるち米の販売実績である。
 2) 旧計画外流通米は、うるち米の出回り数量である。

図7 平成15年産旧自主流通米の主要産地品種銘柄の販売進捗



資料：全国出荷団体調べ

- 注：1) 各年産の集荷量に占める割合である。
2) ラウンドの関係で、合計と内訳は一致しない場合がある。

表6 もち米の月別販売数量

(単位：千トン)

	当年7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年1月	2月	3月	4月	5月	6月	6月末累計
平成14年	8	10	14	27	21	24	6	7	10	9	8	7	151
平成15年	8	9	13	22	6	8	2	4	4	3	3	3	83
対前年差	0	1	1	6	15	16	3	3	7	6	5	4	68
平成16年	3	3											
対前年差	5	6											

資料：全国出荷団体調べ

- 注：1) ラウンドの関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。
2) 全国出荷団体に販売が委託された旧計画外流通米を含む。
3) 平成16年8月の値は速報値である。

表7 平成16年産米の出回り等の数量

全農・全集連販売米 (単位：万トン)

年産	7月	8月	累計
平成16年産	1	4	6

資料：全国出荷団体調べ

- 注：1) 全農及び全集連が販売委託を受けた主食用うるち米の販売実績である。
2) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

生産者の無償譲渡数量 (単位：万トン)

年産	7月	8月	累計
平成16年産	3	5	8

資料：農林水産省「生産者の米穀現在高等調査」

- 注：1) うるち米の値である。
2) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表8 平成15年産米の主な産地別政府買入について

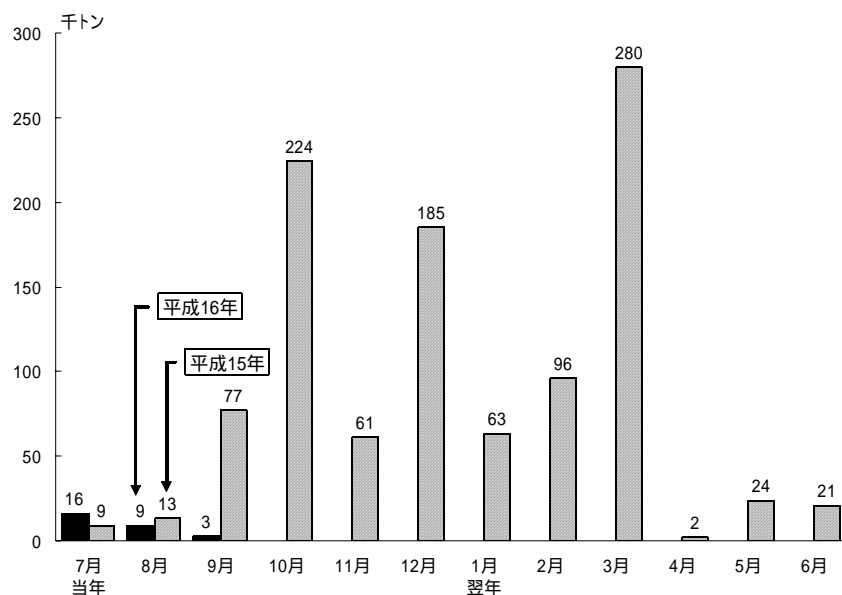
(単位：千トン)

	当初配分 基礎数量 (平成15年12月8日)	買入実績 (16年9月末)	総買入数量に 占める割合
全国	100.0	5.9	-
北海道	12.0	1.1	19.3
秋田	7.7	0.6	9.4
青森	7.2	-	-
宮城	5.1	0.5	8.9
山形	4.6	0.1	2.1
栃木	4.4	0.1	1.7
岩手	4.2	-	-
茨城	4.0	0.2	3.3
新潟	3.7	0.0	0.1
熊本	3.7	0.2	4.1
佐賀	3.3	-	-
福岡	2.9	0.4	7.0
山口	2.6	-	-
群馬	2.4	0.0	0.1
富山	2.3	0.4	7.6

資料：農林水産省調べ

- 注：当初配分基礎数量上位15道県である。

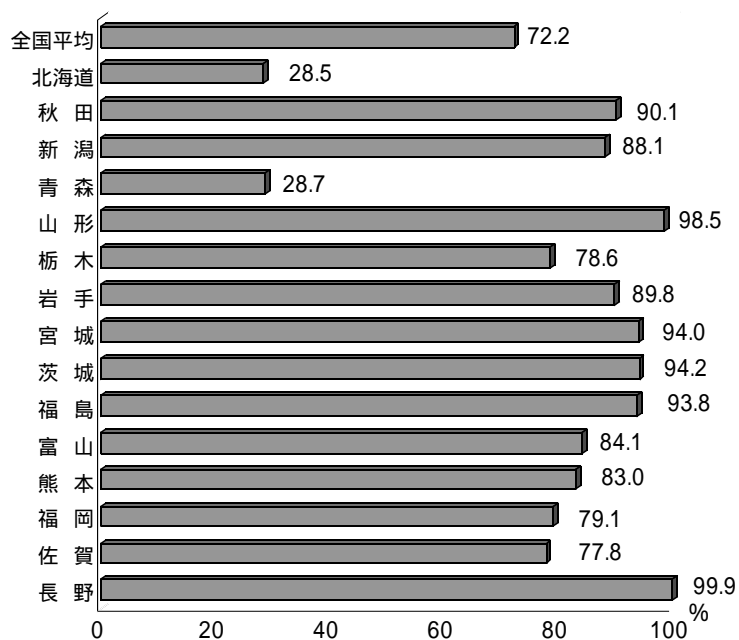
図8 政府米の月別販売動向



資料：農林水産省調べ

注：平成16年9月の値は速報値である。

図9 政府米の主要産地別販売比率



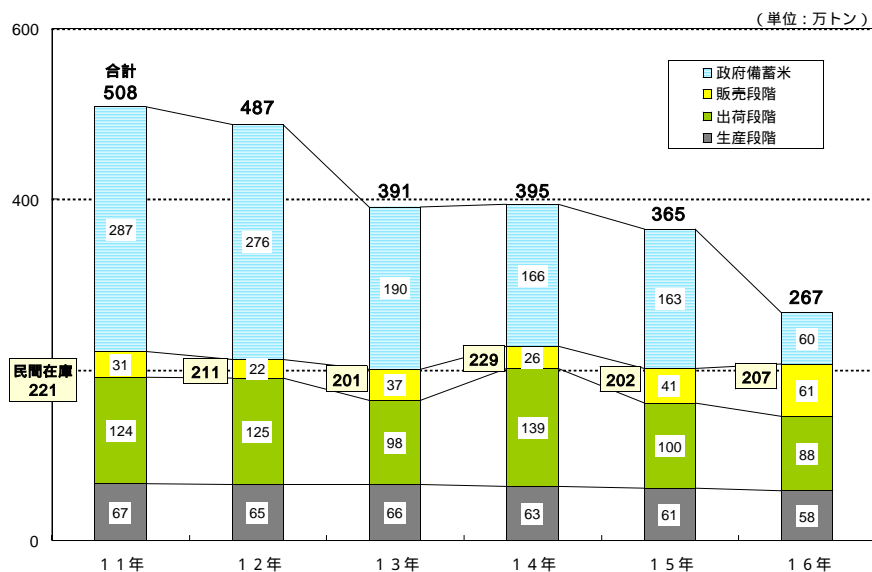
資料：農林水産省調べ

注：1) 平成15年10月末現在までの総買入数量の多かった上位15道県の順番である。

2) 販売比率は、9～14年産の政府買入数量(3等米を除く)に占める販売数量の割合である。

3) 16年9月末現在の速報値である。

図 10 政府及び民間流通の6月末在庫



資料：農林水産省調べ

注：1) うるち玄米及びもち玄米の値である。

2) 各年産民間在庫量は、16年は速報値、15年は確定値、14年以前は推計値である(政府備蓄量はすべて確定値である)。15・16年の在庫量については、

販売段階の在庫量は、旧登録卸売業者の年間玄米取扱量 500 トン以上、旧登録小売業者の 1000 トン以上の業者の数量である。

出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量 500 トン以上の業者の数量である。

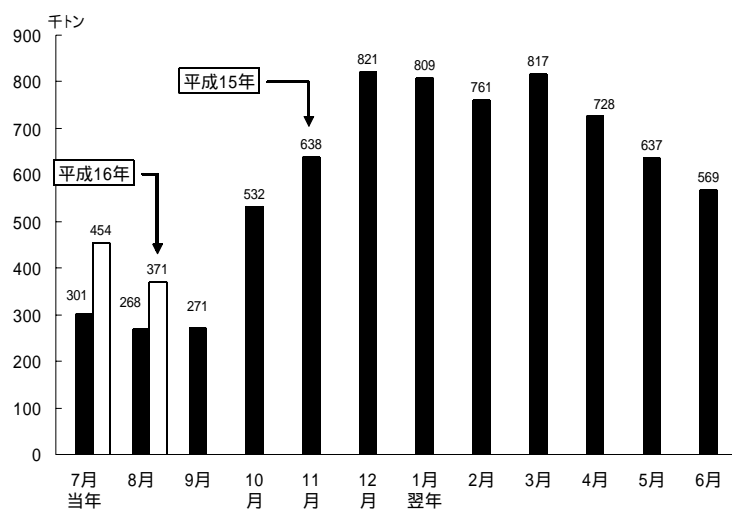
14年以前の推計値については、

販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量(推計)を加えた数量である。

出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量(推計)を加えた数量である。

生産段階の在庫量は、「生産者の米穀現在高等調査」を基に算出した在庫量から精米在庫量(推計)を控除した玄米在庫量である。

図 11 旧登録卸売業者の月別在庫量の推移

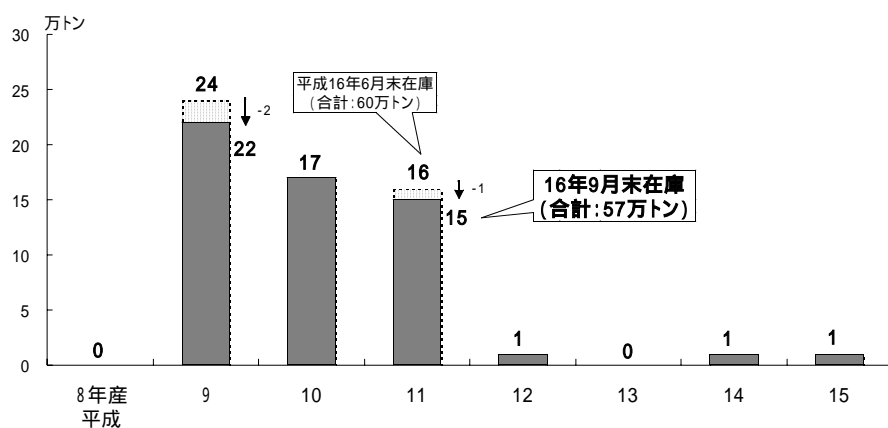


資料：農林水産省

注：1) 月末在庫量は、うるち米及びうるち精米の値である。

2) 速報値である。

図 12 政府備蓄米の在庫状況（平成 16 年 9 月末現在）



資料：農林水産省調べ

注：1) 速報値である。

2) 平成 16 年 3 月末に JIAC（国際農業交流・食糧支援基金）から返還されたものを含む。

表 9 政府備蓄米の主要産地品種銘柄別在庫内訳

（単位：万トン）

年産	1		2		3	
	産地品種銘柄	数量	産地品種銘柄	数量	産地品種銘柄	数量
9年産	北海道 さらさら397	7.9	青森 むつほまれ	5.3	北海道 あきほ	2.3
10年産	北海道 さらさら397	8.8	青森 むつほまれ	2.5	北海道 あきほ	1.2
11年産	北海道 さらさら397	5.7	青森 むつほまれ	2.6	北海道 ほしのゆめ	2.3

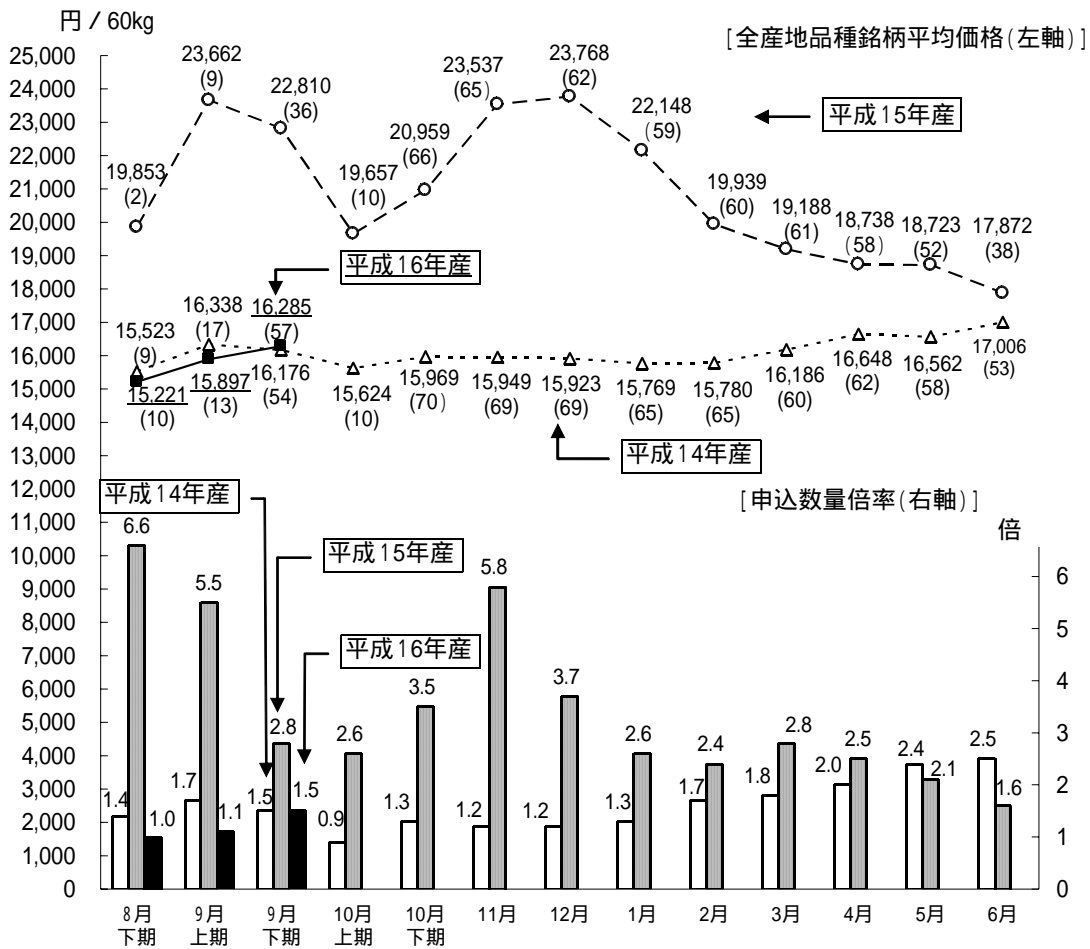
資料：農林水産省

注：1) 平成 16 年 9 月末現在の政府備蓄米の在庫量であり、速報値である。

2) 16 年 9 月の契約分を差し引いた後の数量である。

3) 16 年 3 月末に JIAC(国際農業交流・食糧支援基金)から返還されたものを含む。

図 13 センター取引米の入札価格、申込数量倍率の推移（全産地品種銘柄平均）

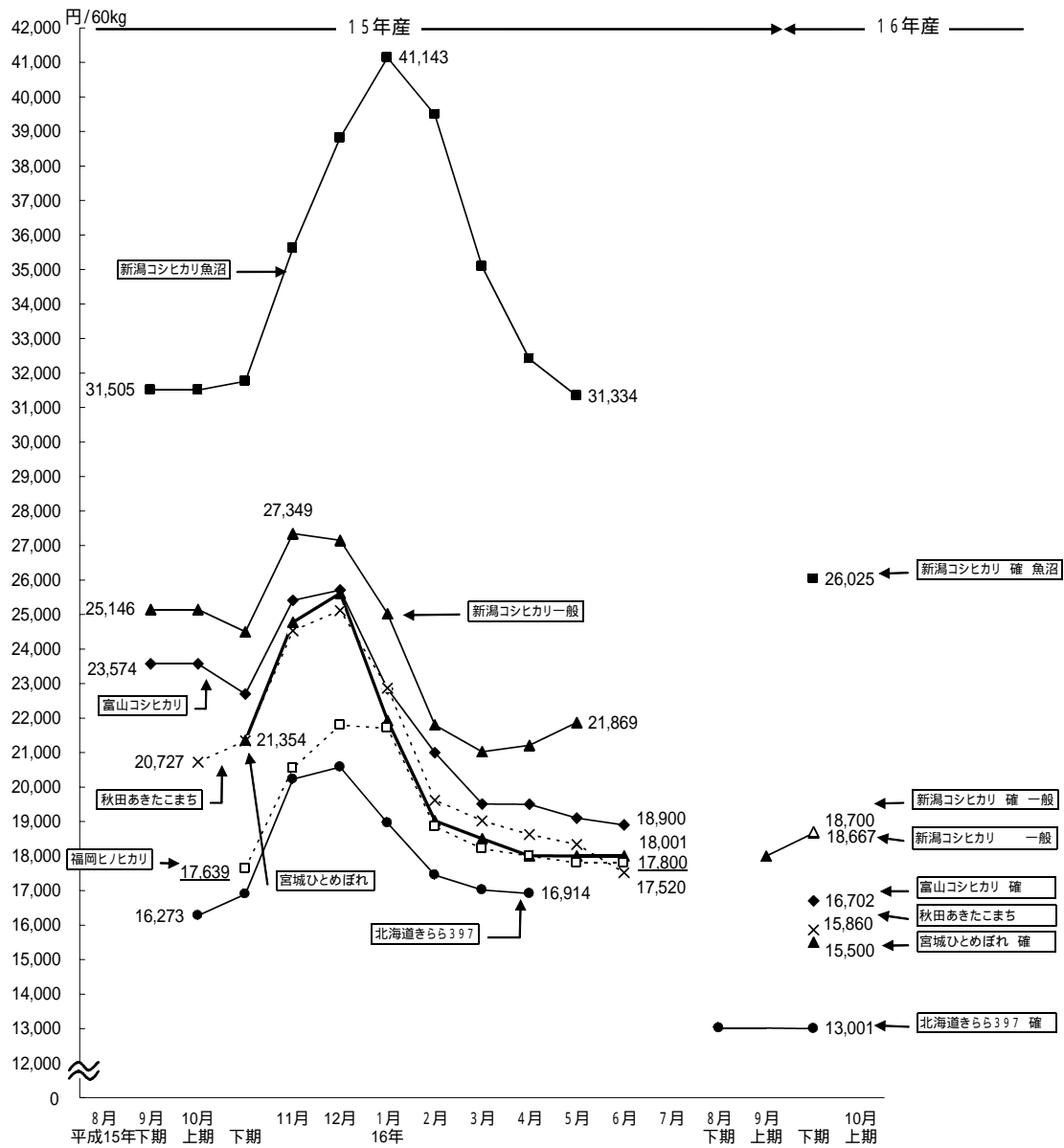


資料：(財)全国米穀取引・価格形成センター調べ

注：1) ()書きは、上場産地品種銘柄数である。

2) 平成14～15年産米8～10月の月2回入札が実施される間は、連続する2回(下期・上期)のうちいずれか1回上場することとなり、10月上旬は銘柄数が少ない中で、比較的低価格の産地品種銘柄が中心であったことから、全産地品種銘柄平均価格が9月に比べ低くなっている。

図 14 主要な産地品種銘柄別に見た入札価格の推移



資料：(財)全国米穀取引・価格形成センター調べ

注：1) 平成15年産3月以前は自主流通米の入札価格である。

2) 15年産米8～10月の月2回入札が実施される間は、連続する2回(下期・上期)のうちいずれか1回上場することとなり、当該図での10月上旬の上場産地品種銘柄は「秋田あきたこまち」、「北海道きらら397」である。

3) 「確」と記載されているものは、「コメ価格センター」業務細則第6条の2に規定する「種子・栽培履歴確認米(確認米)」である。

表 10 直近の産地品種銘柄別センター取引結果

○ 平成16年産第3回入札取引結果(9月28日)

(単位:円/60kg, トン, %, 倍)

産地品種銘柄	受渡地	今回 指標価格	対前回 (8/27) (9/10)	対14年 同時期 (9/27)	対前年 同時期 (9/26)	上場数量	落札残 比率	申込 倍率			
北海道	きらら397	確	東京	13,001	17	494	-	3,916.80	10.9	1.5	
北海道	ほしのゆめ	確	東京	13,003	74	780	-	1,836.00	3.3	1.5	
青森	むつほまれ	確	東京	12,501	-	126	-	324.00	0.0	3.7	
青森	つがるロマン	確	東京	14,000	-	1,006	-	2,138.40	56.6	1.5	
青森	ゆめあかり	確	東京	13,000	-	1,663	-	1,252.80	56.9	2.0	
岩手	あきたこまち	確	東京	15,300	-	305	-	388.80	0.0	1.8	
岩手	ひとめぼれ	確	東京	15,602	-	+97	-	1,036.80	0.0	3.0	
宮城	ササニシキ	確	東京	15,501	-	931	-	453.60	0.0	2.2	
宮城	ひとめぼれ	確	東京	15,500	-	101	-	2,808.00	0.0	2.2	
秋田	あきたこまち	確	東京	15,860	-	741	-	6,048.00	0.0	1.9	
山形	あきたこまち	確	東京	15,340	-	664	-	324.00	0.0	1.4	
山形	はえぬき	確	東京	15,604	-	59	-	972.00	0.0	1.6	
山形	はえぬき	確	東京	15,300	-	363	-	216.00	40.0	0.9	
庄内	ササニシキ	確	東京	15,300	-	911	5,679	216.00	20.0	1.5	
庄内	はえぬき	確	東京	15,501	-	99	5,172	648.00	0.0	1.7	
庄内	ひとめぼれ	確	東京	15,457	-	144	5,336	216.00	0.0	1.9	
福島	コシヒカリ	確	中通り	東京	16,009	-	993	-	324.00	43.3	0.9
福島	コシヒカリ	確	会津	東京	17,000	-	-	648.00	41.7	0.9	
福島	コシヒカリ	確	浜通り	東京	15,800	-	-	324.00	63.3	0.7	
福島	コシヒカリ	確	中通り	東京	16,150	-	852	-	216.00	85.0	0.5
福島	ひとめぼれ	確	東京	15,500	-	2	-	324.00	33.3	1.1	
福島	ひとめぼれ	確	東京	15,150	-	352	-	216.00	80.0	0.6	
茨城	コシヒカリ	確	東京	15,882	50	568	6,896	2,496.00	67.3	1.0	
茨城	あきたこまち	確	東京	14,569	303	837	5,664	408.00	29.4	1.9	
茨城	ひとめぼれ	確	東京	-	-	-	-	204.00	100.0	0.5	
栃木	コシヒカリ	確	東京	16,000	±0	400	5,240	4,800.00	72.8	0.6	
栃木	ひとめぼれ	確	東京	14,500	±0	100	-	240.00	95.0	0.8	
栃木	あさひの夢	確	東京	13,000	-	-	-	264.00	59.1	0.6	
千葉	コシヒカリ	確	東京	15,900	100	500	7,100	864.00	0.0	1.5	
千葉	コシヒカリ	確	東京	15,750	±0	650	7,250	600.00	40.0	1.2	
千葉	ふさおとめ	確	東京	14,400	100	406	3,745	432.00	0.0	1.4	
新潟	コシヒカリ	確	一般	東京	18,700	-	±0	6,446	8,402.40	1.9	1.2
新潟	コシヒカリ	確	魚沼	東京	26,025	-	+16	5,480	1,608.00	0.0	1.6
新潟	コシヒカリ	確	岩船	東京	19,204	-	+1	6,922	702.00	0.0	1.7
新潟	コシヒカリ	確	一般	東京	18,667	+667	33	6,479	756.00	95.7	0.3
新潟	こしいぶき	確	東京	15,501	2	499	5,045	432.00	0.0	1.9	
富山	コシヒカリ	確	東京	16,702	-	360	6,872	2,400.00	0.0	2.5	
富山	てんたかく	確	東京	14,720	-	-	-	240.00	0.0	2.8	
石川	コシヒカリ	確	大阪	16,500	-	±0	6,144	1,440.00	0.0	1.8	
福井	コシヒカリ	確	大阪	16,500	-	5	6,216	1,386.00	0.0	1.4	
福井	ハナエチゼン	確	大阪	14,816	-	+10	3,192	529.20	0.0	2.7	
長野	コシヒカリ	確	東京	16,007	-	409	6,914	1,080.00	0.0	1.6	
長野	あきたこまち	確	東京	14,901	-	681	4,981	540.00	28.0	1.2	
岐阜	コシヒカリ	確	大阪	15,881	200	+47	5,969	205.20	5.3	1.6	
愛知	コシヒカリ	確	大阪	15,600	100	11	5,673	216.00	10.0	1.3	
三重	コシヒカリ	確	一般	大阪	15,800	202	350	6,299	1,036.80	35.0	1.9
三重	コシヒカリ	確	伊賀	大阪	16,300	253	301	6,363	311.04	25.0	2.2
滋賀	コシヒカリ	確	大阪	16,000	100	117	5,773	810.00	0.0	1.6	
滋賀	日本晴	確	大阪	14,039	-	268	2,425	243.00	0.0	1.9	
滋賀	キヌヒカリ	確	大阪	14,700	±0	+253	2,769	486.00	0.0	1.6	
鳥取	コシヒカリ	確	大阪	15,800	±0	90	6,281	820.80	57.9	0.9	
鳥取	ひとめぼれ	確	大阪	14,903	11	235	4,494	453.60	14.3	1.3	
鳥根	コシヒカリ	確	大阪	16,000	5	192	6,078	1,231.20	22.8	1.6	
山口	コシヒカリ	確	大阪	15,700	-	±0	6,425	259.20	0.0	1.9	
福岡	夢つくし	確	大阪	16,514	+182	-	3,888	204.00	0.0	2.9	
佐賀	夢しずく	確	大阪	15,000	-	-	3,946	216.00	0.0	2.2	
熊本	コシヒカリ	確	大阪	16,300	+157	+60	5,979	324.00	0.0	3.3	
全銘柄平均				16,285	-	+109	6,525	61,487.64	19.6	1.5	

資料:(財)全国米穀取引・価格形成センター調べ

注:産地品種銘柄欄に「確」と記載されているものは、「コメ価格センター」業務細則第6条の2に規定する「種子・栽培履歴確認米(確認米)」である。

○ 平成16年産第4回入札取引結果(10月13日)

(単位:円/60kg, トン, %, 倍)

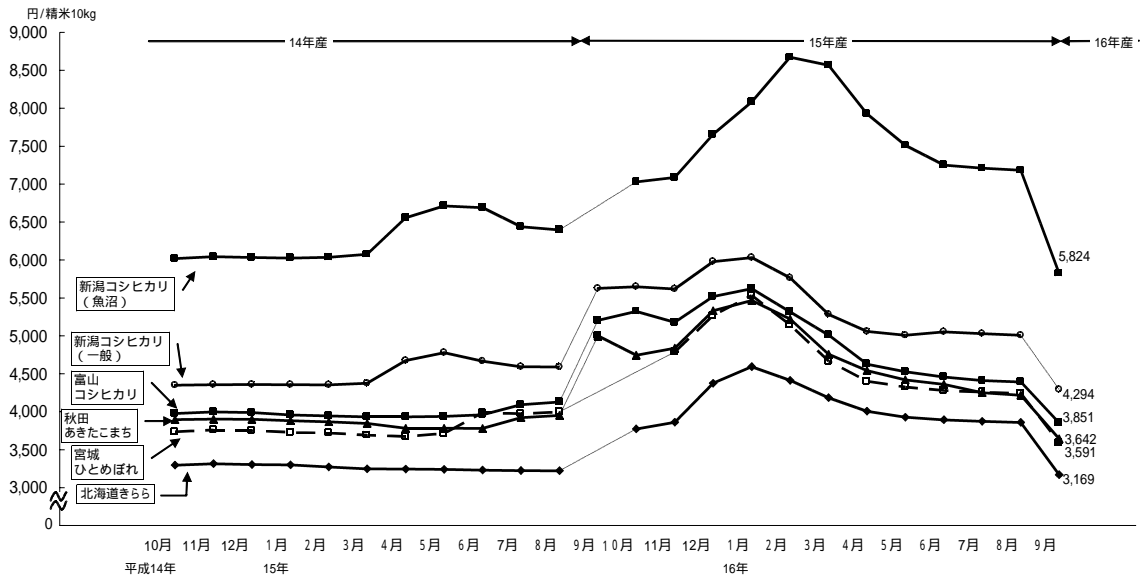
産地品種銘柄	受渡地	今回 指標価格	対14年 同時期 (9/27)	対前年 同時期 (9/26)	上場数量	落札残 比率	申込 倍率	1等米 比率	
岡山	コシヒカリ	大阪	16,000	515	6,131	216.00	16.7	1.0	39

資料:(財)全国米穀取引・価格形成センター調べ

注:1) 対14年及び対前年同時期価格差については、当該産地品種銘柄の上場がなかったため、受渡期間(10月末日まで)が同じである9月下旬と比較した。

2) 1等米比率は、9月15日現在の検査結果である。

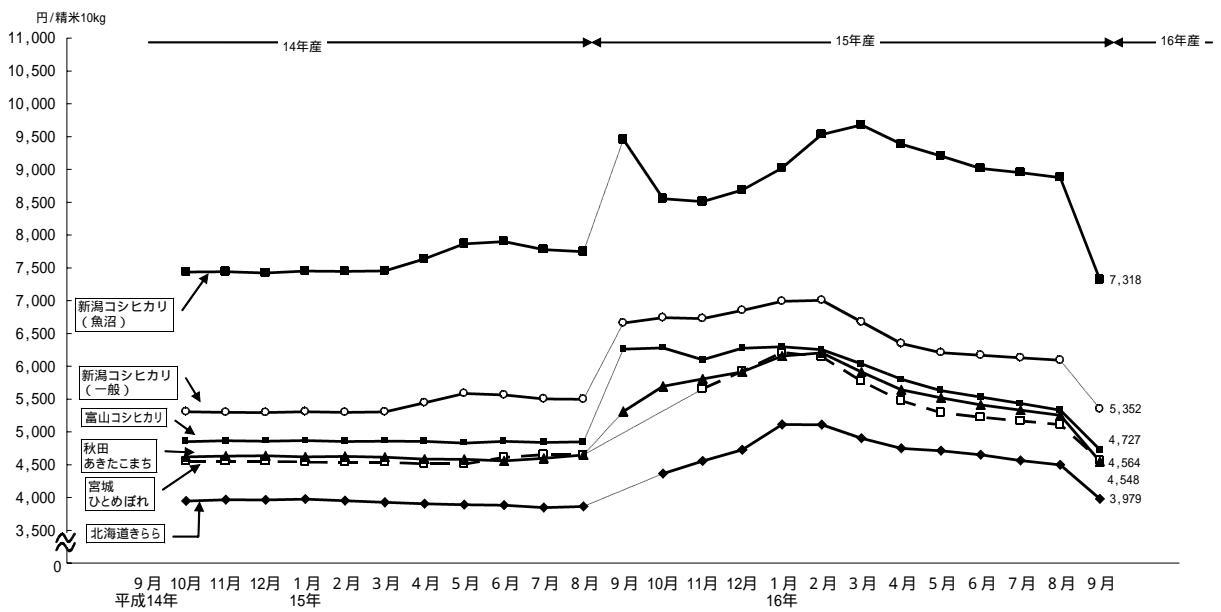
図 15 米の卸売価格の推移



資料：農林水産省「米穀の取引価格調査」

注：調査客体は、各都道府県ごとに取扱数量の多い業者（全 736 業者（卸売業者 151、小売業者 585））とした。

図 16 米の小売価格の推移



資料：農林水産省「米穀の取引価格調査」

注：図 15 と同じ。

表 11 平成 16 年産米の卸売・小売価格

卸売価格

産地品種銘柄	平成16年 9月
北海道きらら397	3,169
北海道ほしのゆめ	3,320
青森つがるロマン	3,702
青森むつほまれ	-
青森ゆめあかり	3,154
岩手ひとめぼれ	-
宮城ひとめぼれ	3,591
宮城ササニシキ	-
秋田あきたこまち	3,642
山形はえぬき(内陸)	3,660
福島コシヒカリ(中通り)	-
茨城コシヒカリ	3,719
栃木コシヒカリ	3,640
千葉コシヒカリ	3,744
新潟コシヒカリ(一般)	4,294
新潟コシヒカリ(魚沼)	5,824
富山コシヒカリ	3,851
福井ハナエチゼン	3,510
長野コシヒカリ	3,851
滋賀キヌヒカリ	3,480
滋賀日本晴	-
福岡ヒノヒカリ	-
福岡夢つくし	4,032
熊本ヒノヒカリ	-

小売価格

産地品種銘柄	平成16年 9月
北海道きらら397	3,679
北海道ほしのゆめ	3,956
青森つがるロマン	3,693
青森むつほまれ	-
青森ゆめあかり	-
岩手ひとめぼれ	-
宮城ひとめぼれ	4,564
宮城ササニシキ	-
秋田あきたこまち	4,548
山形はえぬき(内陸)	4,773
福島コシヒカリ(中通り)	4,518
茨城コシヒカリ	4,495
栃木コシヒカリ	4,678
千葉コシヒカリ	4,598
新潟コシヒカリ(一般)	5,352
新潟コシヒカリ(魚沼)	7,318
富山コシヒカリ	4,727
福井ハナエチゼン	4,217
長野コシヒカリ	4,483
滋賀キヌヒカリ	4,236
滋賀日本晴	4,117
福岡ヒノヒカリ	-
福岡夢つくし	4,862
熊本ヒノヒカリ	-

資料：農林水産省「米穀の取引価格調査」

- 注：1) 全国平均価格（包装、消費税込み）である。
 2) 産地品種別は作付面積の多い産地品種銘柄から全国流通しているものを計上した。
 3) 取扱客体が少ない場合等は「 - 」とした。